

桑原式レポート書式

2002/05/10 大阪大学 桑原 進

推奨アプリケーション

レイアウト	: Adobe PageMaker 6.53J, 7.0J
図	: FreeHand 8J ~ 10J・クラリスドロー 1.0v2
表計算	: Microsoft Excel 2001:mac, v.X
グラフ作成	: KaleidaGraph ver.3.5J
数式作成	: MathEQ
PDF ファイル作成	: Adobe Acrobat 5J
製図	: VectorWorks 8.5J ~ 9.5J

PageMaker 基本設定

書類サイズ	: A4
書類マージン	: 左・右・下 25mm , 上 20mm
文字サイズ	: 10 point
行間サイズ	: 18 point
和文フォント	: 細明朝体 , 中ゴシック体
英文フォント	: New Century Schbk, Symbol

MathEQ の注意

- ・ PageMaker など他のアプリケーションへのコピーペーストは高解像度 Bit/Pixmap で行う . 設定方法は (<http://www.arch.eng.osaka-u.ac.jp/~kuwa/memo/expressionist.html>) を参照のこと .
- ・ 半角スペースの挿入位置 : 符号 (+ , - , × , /) の前後 , 括弧の前後

文章の組立

次ページを参照のこと

2行開け

中ゴシック 10 point, 数字は半角, タイトルとの間は全角スペース

3.1 序

本報は、1998年7月29日(水)に近畿大学理工学部実験棟にて行われたアルミ溶射ダンパー動的載荷実験の結果速報である。表 3.1.1 には試験体一覧を、表 2 には外板のアルミ溶射膜厚実測値を示す。次ページ以降には各試験体毎の実験結果シートを示す。図中の試験体略称の後ろに付いている番号の意味は以下の通りである。

$$\alpha = \beta (\varepsilon \varphi) \tag{3.1}$$

$$\alpha = \beta \theta \tag{3.2}$$

1行開け

中ゴシック 10 point, 数字は半角, タイトルとの間は全角スペース

3.2 実験結果

3.2.1 実験結果シート

実験結果シートに示す図は以下の通りである。

- ・ 摩擦力-すべり量関係 (すべり係数 - すべり量関係)
- ・ 摩擦力の推移図 (すべり係数の推移図)
- ・ ボルト軸力の推移図 (中板中央温度の推移図)

括弧内に示す値は、図の右端に示している目盛り読みとることができる。

1行開け

中ゴシック 10 point, 数字は半角, タイトルとの間は全角スペース

3.2.2 実験結果と考察

中板 SUS 試験体の実験結果より得られた知見を以下に列記する。

- ・ 締め付けボルト M20 の試験体のすべり係数 - すべり量関係は安定した剛塑性型の履歴性状を示

細明朝 10 point, 数字は半角, タイトルとの間は全角スペース. 節毎に番号をつける.

表 3.1.1 動的試験体一覧

試験体名	試験体略称	締め付けボルト	目標溶射膜厚 (μm)	中板素材	外板素材	載荷プログラム
SNA20-U20LK3005	20-U20	M20	200	SUS410	SS400	30mm, 0.5Hz
SNA30-U20LK3005	30-U20	M20	300	SUS410	SS400	30mm, 0.5Hz
SNA20-U24LK3005	20-U24	M24	200	SUS410	SS400	30mm, 0.5Hz
SNA30-U24LK3005	30-U24	M24	300	SUS410	SS400	30mm, 0.5Hz
SNA20-Y24LK3005	20-Y24	M24	200	YUS410WM	SS400	30mm, 0.5Hz

細明朝 10 point, 数字は半角, タイトルとの間は全角スペース. 節毎に番号をつける.

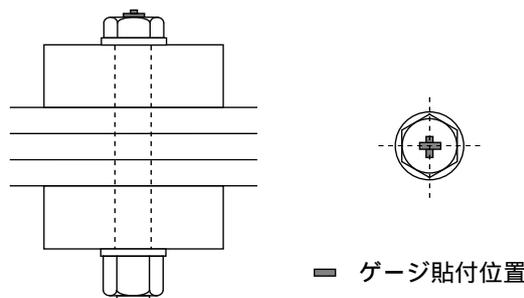


図 3.1.1 締め付けボルトの2軸ゲージ貼付位置

章毎にページ数をつける. ハイフンの前後には半角スペース.